

幼稚園教育研究集会を実施して

玉 越 三 朗

先般東京と京都で実施した幼稚園教育研究集会についてなにか書いてほしいとの編集の方からの依頼があったので研究集会を実施して感じたことなど。二、三述べてみたいと思う。

1 幼稚園の研究集会を独立したわけ

幼稚園の現職の教員の資質向上をはかるには、従来はおもに講習会や講演会の形式がとられていた。それが終戦後最も効果がある方法として注目されたのが研究集会である。幼稚園でも他の学校にならって次第にこの方法が行われるようになり、文部省でも昭和二十五年から小学校の研究集会につけ加えて「小学校幼稚園教員研究集会」として実施した。しかしこれには、各年度とも各地区ごと一班きり設けることができなかった。参加する人はほんとうに僅かでありまたじゅうぶん幼稚園の各分野にわたつての研究討議できなかった。そこで現場からもこれを独立して実施してほしいとの要望がたえずあった。

それが本年度からようやく独立して実施できるようになり、会場は二会場であるが参加者は五百余名、研究班は十班とすることができた。このように一大伸展をしたのは、実に皆さんの切なる要望の賜であるが独立して実施するようになった当面の理由の二、三を述べてみると、

1、幼稚園は小学校や中学校にくらべて、まだ教育内容指導法、施設設備、経営管理いずれの部分についてもい

る困難な問題が多い。しかもこれらは、まだ全国的にじゅうぶん話し合う必要がある。

2、幼稚園は地域差がひどいうえに、現職教育の機会が他の学校にくらべて非常に少ないので、教育向上のためには文部省もすすんで実施しなければならぬ。

3、幼稚園教育が最近特に盛んになってきたので、従来のような一会場一班では要望に応じられない。

2 研究集会のもつ意味

研究集会の意義はもうじゅうぶんしょう知していることと思うが、こんど実施してみた結果によると、まだじゅうぶんはあくされていらないようにも思えるので、ここに簡単に述べておこう。

1、参加者が現場の問題や疑問をもちよつて、それを解決するというのが主体である。

研究集会は、参加者が日ごろおのおの現場で解決を迫られている問題を中心にして、討議や研究をし、お互いにその資質を向上したるに必要な技能を高めたりするのであって、研究集会で解決がはかられた問題は、参加者によつて現場にもちかえられ、参加者のあすか

らの指導や組の運営や幼稚園経営の改善に直接役立つものであるというのが本体である。

こういうわけであるから、こんどの幼稚園教育研究会の目的にも「幼稚園教育の当面する諸問題を総合的に研究し、その成果を実践の場に普及し、もって幼稚園教育の振興と教職員の資質の向上を図る」としたのである。ただこんどの研究会の期間がわずかに四日間であつたので、その趣旨が結果的にいつて不明瞭になつたらうみがある。

2、研究のしかたは参加者が協力して研究する。すなわち協同研究を主体とする。

研究会のように講師の指導にもつぱら依存して御説ごもつともだまつて聞いていたり、または他人の意見や主張に便乗して自分の意見を述べたりするのではなく、参加者のひとりひとりが積極的に問題と取り組んでみんなで協力して研究を進めていくことをたてまえとしている。それかといつて、ひとりひとりがそれぞれ勝手に研究を進めるのではなく、参加者が同じ問題に対していろいろな悩みや意見を出し合つて互に協力してその問題を解決していく、つまり各グループの協同研究とい

うのが本体となつてゐる。

3、民主的に運営されるのが建前である。研究会の企画や準備ばかりでなく、会中の運営も、班ごとの進行もみな民主的に運営され、それぞれの人がみな責任を持つて会が進められていくのが本体となつてゐる。

4、研究会に期待される効果

研究会のあり方とは少し違うが、以上のような性格から研究会には次のような効果が期待されている。

(1) 現場の教育活動に即した理解がいつそう深められ、あるいは直接必要で豊富な資料が得られる。

(2) お互がもちよつた教育上の問題に対して、いろいろな角度からの解決のしかたがわかり、さらに教育全般にわたつての視野を広めることができる。

(3) お互が研究会において自主的に研究し、あるいは協力して結論をうることをなぞみずから経験することによつて今後こどもの指導をする上に役だてることができる。

(4) これまでの自分の研究のしかたの反省の機会となり、また研究の方法や研究

の成果その他いろいろな教育活動に対して自信をもつことができる。

(5) 現場の教育活動に一つの刺戟が与えられ、教育改善に強い意欲をもつことができる。

(6) 日ごろ問題としてゐる点を解決するため、ある期間研究に没頭する余裕が与えられる。

(7) 同じような問題を解決するために努力してゐる多くの知己が得られ、これを機会に今後相互に資料の交換ができる。

3 こんどの研究会に研究問題として

とりあげられた主題と研究討議された事項

〔東京会場〕

主題一 健康教育はどのようにしたらよいか

研究討議された主な事項

一、健康教育をしていくうえの環境の重要性

性

(1) 物的環境

(2) 人的環境

二、健康教育をどのようにしたらよいか

(1) 消極面、すなわち健康の保持につい

て

- 1、身体検査
- 2、疾病予防
- 3、災害予防

- 4、家庭との連絡
- 5、基本的衛生のしつけ

- 6、疲労
- 7、保育時間

- (2) 積極面すなわち健康の増進について
- 三、こどもの個人差をどのように考えたらよいか。

- (1) 活動の鈍いこども
- (2) 活動的なこども
- (3) 指しゃぶりや衣類かみのくせのあるこども

主題二 性格教育はどのようにしたらよいか

研究討議された主な事項

一、問題児の集団指導

- (1) 流れにのることをしない型のこども
- (2) 流れをくずしませかえす型のこども
- (3) 流れにのろうとしてもれない型のこども

二、集団指導に遊びをどのように役だてた

らよいか

三、家庭の協力をいかにして得るか

- (1) 家庭を熟知する方法
- (2) 家庭との連絡

- (3) 両親のとるべき態度
- 四、集団指導の一般論

- (1) 保育の前提条件
- (2) 幼稚園における權威の問題
- (3) 集団の扱い方

主題三 幼稚園における製作はどのようにしたらよいか

研究討議された主な事項

一、幼稚園の製作の範囲

二、製作指導の望ましい態度

三、製作資材

四、幼児の心身の発達段階に応じた製作

- (1) ローウエンフェルトの発達段階
- (2) お茶の水女子大学附属幼稚園の製作

課程

五、製作と他の保育内容との関連

六、製作のあと始末

七、折り紙

八、幼児の製作に対する家庭の理解

主題四 社会環境と生活指導について

研究討議された主な事項

一、幼稚園は地域社会においてどのようにあるべきか

- (1) 幼稚園は地域社会の行事をどのように取り入れていけばよいか
- (2) 家庭指導をどのようにするか

二、保育時間外指導はどのようにしたらよいか

- (1) こづかいの問題
- (2) 困る遊びの指導
- (3) 街の文化財の問題
- (4) 夕食事の父親不在の問題
- (5) 幼稚園と家庭との連絡
- (6) 登園・帰園の時刻の問題
- (7) 夏休み・冬休みの指導

主題五 幼稚園の経営はどのようにしたらよいか

研究討議された主な事項

一、施設設備のための財源をどうしたらよいか

- (1) 積立金
- (2) 起債・補助金
- (3) 助成金

二、教職員の俸給をどうしたらよいか

(1) 設置者の配慮にまづ

(2) 他に援助を求め

三、私立幼稚園の保育料はどうきめたらよいか

四、職員組織はどうしたらよいか

(1) 既婚・未婚の問題

(2) 特技を生かす

五、教員の研修はどうしたらよいか

六、よい教師とはどんな人か

七、小学校との連絡はどうしたらよいか

(1) 小学校との連絡をはばんでいけるもの

(2) どのように連絡をとつたらよいか

〔京都会場〕

主題一 健康教育はどのようにしたらよいか

研究討議された主な事項

一、個人差をどのように考えたらよいか

(1) 個人差を見出す方法

(2) 個人差に即した指導はどのようにしたらよいか

たらよいか

1 虚弱児・病弱児

2 発育のおくれていることも・栄養不良のことも

3 運動能力の劣っていることも

4 肢体不自由児

5 ツ反応陽転児

6 今すぐ指導すればよくなると思われることも

7 健康の習慣に対する個人差

二、健康増進のための積極的な健康教育は

どのようにしたらよいか

遊具について

1、固定施設のもつ特異性

2、新考案の固定施設

3、固定施設を用いての遊びにおける指導目標

4、固定施設を用いての遊びにおける指導上の留意点

5、その他の遊具

主題二 性格教育はどのようにしたらよいか

研究討議された主な事項

一、幼児の問題

(1) 望ましい情緒の安定

(2) 望ましい積極性の養成

(3) 望ましい習慣の形成

(4) 望ましい情操の啓培

二、教師の問題

三、家庭の問題

四、幼稚園の問題

主題三 表現活動について

研究討議された主な事項

一、絵画指導はどのようにしたらよいか

(1) 思想画

(2) 小学校との関連

(3) 色の使い方

(4) 絵をかかないことも

(5) 絵の塾

(6) 父兄への絵の導き方

(7) 多人数の組の絵の指導

(8) 概念画の導き方

(9) 絵の見方と導き方

(10) 作品の評価と処理

(11) 幼児画と精神衛生

二、製作遊びのねらいとその方法

(1) 折り紙

(2) はきみなどの使い方の基礎的な指導

(3) 細工帳の使用

(4) 課題製作のあり方

(5) 木工の程度と道具

三、望ましい音楽教育のあり方

- (1) 歌うことの指導
- (2) 合奏の指導
- (3) 鑑賞指導
- 四、幼児のリズム感覚の指導はどのようにしたらよいか
- 動きのリズムの指導
- 五、幼児の言語表現の指導をどのようにしたらよいか
- (1) 幼稚園語をどう扱うか
- (2) ことばのしつけ
- (3) 方言
- (4) 言語表現の不活発なことも・活発過ぎることも
- (5) どものりこどもの扱い方
- (6) 生活発表の記録
- (7) ことば遊びと指導
- (8) 戯遊びの指導
- (9) 絵本の指導
- (10) ラジオの聞かせ方およびこどもの話の聞かせ方
- (11) 言語の実態調査
- 主題四 自然および社会生活の指導はどのようにしたらよいか
- 研究討議された主な事項

- 一、自然観察の指導はどのようにしたらよいか
- (1) 指導目標とそれに対する態度
- (2) 自然観察の性格
- (3) 幼児の発達段階
- (4) 設備・材料
- (5) 興味の問題
- (6) 指導上の留意点
- (7) 疑問の取り扱い
- (8) 指導の場の問題
- 二、社会生活の指導はどのようにしたらよいか(見学と年中行事)
- (1) 年中行事を教育計画に取り入れる場合の選択基準
- (2) グループ生活指導の着眼点
- (3) 家庭人との協力をどのようにしたらよいか
- 主題五 幼稚園の経営はどのようにしたらよいか
- 研究討議された主な事項
- 一、幼稚園の施設設備を充実するにはどのようにしたらよいか
- (1) 施設設備充実の目標
- (2) 園地・園庭をどのようにすればよいか

- か
- (3) 屋外施設設備をどのようにすればよいか
- (4) 屋内の施設設備はどのようにすればよいか
- (5) 施設設備を充実するためにどのようになくふうと苦心をしたか
- 二、園内研修をするのに適当な組織をどのようにしたらよいか
- (1) 教師の研究意欲をどのようにして高めるか
- (2) 園内研修をするのに適切な組織をどのようにしたらよいか
- なお、全体協議は次の主題で研究討議が行われた、ことをつけ加えておく。
- 〔東京会場〕
- 一、幼稚園と小学校との連絡はどのようにしたらよいか
- 二、家庭との連絡はどのようにしたらよいか
- 三、災害予防対策はどのようにしたらよいか

〔京都会場〕

幼稚園教育と小学校教育の関連性

4 反 省

こんどの研究会は幼稚園だけの最初の集
会であったため、しかもいろいろな事情のた
めその準備期間が非常に短かくなってしまっ
て、予期した効果があがらなかつたことをほ
んとうに申し訳なく思っている。特に研究会
を心からお世話願った方々や指導者、参加者
に対しては申し訳ない次第である。ただ以上の
人々の積極的なご援助によって、両会場とも
無事に終ることができたことがせめてものこ
とである。しかしよく考えてみると、すべて
失敗したことはかりでなくまた少しはよかつ
たこともあるようである。次に私自身が悪か
つたと思うこととよかつたと思うことのいく
つかを述べてみることにする。

悪かつたと思う点

- 1、準備期間が短かつたためおよび予算が少かつたため、企画、運営がうまくいかなかった。
- 2、研究主題の範囲が大きかつたため、問題解決の方法を見出しただけで終ってし

まったり、問題の範囲を決めるのに相当
手間どったりした。

3、参加者がじゅうぶん研究し資料を準備
して参加する余裕がなかつた。

4、研究に必要な時間が短かつたし、研究
の時間と休養の時間が程よく組合わさ
れていなかった。

5、研究会の意味がよく理解されていな
かつたため、研究討議の進行に多少の困
難があつた。

6、指導者、司会者の連絡があまりよくい
つていない班もあつた。

7、参加者のなかには、講演会や講習会と
同じように考え、会期中つづけて出席し
ない者があつた。

良かつたと思う点

1、幼稚園単独で実施したため、参加者を
多くすることができた。

2、班別研究の班が多くつくられたので、幼
稚園の各分野の研究が併行して進められ
た。

3、共催者、指導者、司会者、参加者、役
員のすべてが、非常に熱心であつた。

4、実地保育園がすすんでありのままの保

育をみせてくれた。

5、実地保育についての協議で、保育した
教師をつるしあげにするような批評がな
くなり、良いところをみつけ出してそれ
をもととして話し合うという態度をとる
ようになった。

6、班別研究その他で、参加者がすすんで
小グループの司会やその他の世話係を引
受けるようになって、自分達の会である
というような意欲を積極的にみせるよう
になった。

7、班によっては、自主的に当番を決めて
朝晩の部屋の清掃、整頓をして、その教
養の高さを示して小使さん感謝させ
た。

以上とりとめもないことを述べたが、重ね
てこの研究会をお世話願った人々や指導者
参加者の皆さんの心からのご協力をこの紙面
を借りてお礼を申すとともに今後の研究会
に積極的に御援助いただくようお願いする。
なお、この研究会の研究結果の記録は、
文部省から刊行する予定である。

(文部事務官)